



さくらいなつの
櫻井那月乃 さん
塩原小中学校 8年生



出演することで、故郷のことが学べた

那 須野の大地は、毎回昼と夜の2回上映され、昼の部と夜の部で出演者が入れ替わる。先述の山口さんと共に主役の「鶴見りん」を演じたもう一人が、櫻井那月乃さんだ。「お母さんに連れられて練習を見学に行き、その様子がすごく面白そうに感じた」というのが入団の理由とか。今までは幼少期のりんの役で出演していたが、今回、ついに主役のりんを演じることになった。「稽古は大変だったけど面白かったし、自分の成長を感じることができた」と、大役を演じきった感想を話してくれた。

開拓については、小学校の時に授業で教わったくらいで、「大人が鍬などをもって土地を耕していたイメージ」だったという櫻井さん。しかし、自身が子役として出演したことで、「大人は大人の、子どもは子どもなりの苦労があり、みんな力を合わせて開拓を進めてきたんだな」と、イメージに変化があったとか。



那須野が原開拓の魅力に迫る 日本遺産認定記念講演会

昨年5月に日本遺産に認定された*明治華族による開拓にまつわるストーリー「明治貴族が描いた未来～那須野が原開拓浪漫譚～」。

- ▶とき 3月2日(土) 午後1時30分開会
- ▶ところ 乃木温泉ホテル (下永田1-993-11)
- ▶参加費 無料
- ▶定員 200人
- ▶その他 事前に申し込みが必要です ※申し込み方法など詳しい内容が決まり次第、広報誌でお知らせします。



▶問い合わせ 函生生涯学習課 ☎0287(37)5419

日本遺産とは… 東京五輪・パラリンピックまでに全国で約100件まで増やそうとするもので、文化財を「点」として捉え、主に保存を重視するこれまでの文化財指定の制度と性格が異なり、地域に点在する遺産を「面」として一体的に捉え、活用することが重視されています。

未来へつなぐ

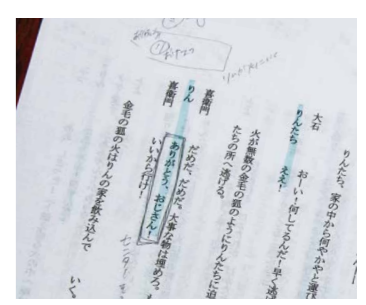
那須野が原開拓に命を懸けた先人たち。彼らの思いを未来へつないでいくことが私たちの務め。開拓の様子を描いた劇「那須野の大地」を毎年公演している「劇団なすの」のメンバーに話を聞いた。

劇を通じて、故郷が好きになった

柄 木って田舎で何もなかった。特に魅力も感じなかった。かつて、自身が故郷に対して持っていた思いをこう語ってくれたのは、今回の那須野の大地で主人公の「鶴見りん」の役を演じた山口鈴華さん。現在、高校1年生の彼女が劇団なすのに入団したのは、中学1年生の時。演劇に興味があり、友人から誘いを受けてメンバーになった。

今までは、劇中のさまざまな効果を演出する狐の役を担っていたが、今回、主役に初めて抜擢された。「りん」は、今までの役と比べて、セリフの量や演じる場面も桁違いに多いので、正直自信がなくて、初めは不安しかなかった。でも、稽古を続けていくうちに楽しくなり、演じきったときは最高の達成感を得ることができました」と、嬉しそうに当時の心境を話してくれた。

やまぐち すずか
山口 鈴華 さん
黒磯南高等学校 1年生



要所要所に書き込みがされ、読み込まれた台本。